【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2002-543096(P2002-543096A)
【公表日】平成14年12月17日(2002.12.17)
【出願番号】特願2000-614365(P2000-614365)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｋ　14/495　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/17　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/196　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/337　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/513　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/519　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/704　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7048　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7068　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/7088　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/24　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/76　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　21/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/28　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/32　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/22　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　39/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｋ　14/495　ＺＮＡ
Ａ６１Ｋ　31/17
Ａ６１Ｋ　31/196

Ａ６１Ｋ　31/337
Ａ６１Ｋ　31/513
Ａ６１Ｋ　31/519
Ａ６１Ｋ　31/704
Ａ６１Ｋ　31/7048
Ａ６１Ｋ　31/7068
Ａ６１Ｋ　31/7088
Ａ６１Ｋ　33/24
Ａ６１Ｋ　35/76
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｐ　 1/02
Ａ６１Ｐ　 1/04
Ａ６１Ｐ　 1/14
Ａ６１Ｐ　 3/10
Ａ６１Ｐ　 7/00
Ａ６１Ｐ　 9/10
Ａ６１Ｐ　19/00
Ａ６１Ｐ　21/00
Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　25/14
Ａ６１Ｐ　25/16
Ａ６１Ｐ　25/18
Ａ６１Ｐ　25/28
Ａ６１Ｐ　25/32
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　27/06
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　31/12
Ａ６１Ｐ　31/18
Ａ６１Ｐ　31/22
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　37/00
Ａ６１Ｐ　39/02
Ａ６１Ｐ　43/00　　１０５
Ａ６１Ｐ　43/00　　１２１
Ａ６１Ｋ　37/02

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月23日(2007.4.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
配列NH_2-X_{1a}-Cys-His-Ser-X_{1b}-X_2-X_{1a}-X_{1b}-X_{1a}-X_3-Cys-COOH（配列番号4）（配列中、X_{1a}およびX_{1b}は独立してVal、GlyまたはAlaであり；X_2はTyrまたはPheであり；X_3はArgまたはLysであり；そして2つのCys部分はジスルフィド結合を介して連結されてTGF-α活性を有する少なくとも11個のアミノ酸の機能性ペプチドを形成する）を有するペプチドを含

んでなるポリペプチド。
【請求項２】
少なくとも1以上の次のアミノ酸：-X_4-His-X_{1c}-X_4-X_5-X_6-X_{1c}（配列番号5）（配列中、X_4はGluまたはAspであり；X_5はLeuまたはIleであり；そしてX_6はAspまたはGluである）が配列番号4のC末端のCys部分に連結されている、請求項１に記載のポリペプチド。
【請求項３】
X_{1a}がValであり、X_{1b}がGlyであり、そしてX_{1c}がAlaである、請求項２に記載のポリペプチド。
【請求項４】
X_2がTyrであり、そしてX_3がArgである、請求項２に記載のポリペプチド。
【請求項５】
機能性ペプチドが18個のアミノ酸長であり、かつX_{1a}がValであり、X_{1b}がGlyであり、X_{1c}がAlaであり、そしてX_4がGlyである、請求項２に記載のポリペプチド。
【請求項６】
体重減少を有するまたはそのリスクのある被験者を治療する方法であって、被験者に体重減少を阻止しまたは緩和するのに有効な量のトランスフォーミング増殖因子α（TGF-α）ポリペプチドを投与することを含んでなる上記方法。
【請求項７】
被験者の体重を増加する方法であって、被験者に体重減少の前に、同時に、または実質的に後に、被験者の体重を増加または維持するのに有効な量のトランスフォーミング増殖因子α（TGF-α）ポリペプチドを投与することを含んでなる上記方法。
【請求項８】
配列NH_2-X_{1a}-Cys-His-Ser-X_{1b}-X_2-X_{1a}-X_{1b}-X_{1a}-X_3-Cys-COOH（配列番号4）（配列中、X_{1a}およびX_{1b}は独立してVal、GlyまたはAlaであり；X_2はTyrまたはPheであり；X_3はArgまたはLysであり；そして2つのCys部分はジスルフィド結合を介して連結されてTGF-α活性を有する少なくとも11個のアミノ酸の機能性ペプチドを形成する）を有するポリペプチドおよび製薬上許容される担体を含んでなる製薬組成物。
【請求項９】
少なくとも1以上の次のアミノ酸：-X_4-His-X_{1c}-X_4-X_5-X_6-X_{1c}（配列番号5）（配列中、X_4はGluまたはAspであり；X_5はLeuまたはIleであり；そしてX_6はAspまたはGluである）が配列番号4のC末端のCys部分に連結されている、請求項８に記載の製薬組成物。
【請求項１０】
X_{1a}がValであり、X_{1b}がGlyであり、そしてX_{1c}がAlaである、請求項８に記載の製薬組成物。
【請求項１１】
X_2がTyrであり、そしてX_3がArgである、請求項９に記載の製薬組成物。
【請求項１２】
機能性ペプチドが18個のアミノ酸長であり、かつX_{1a}がValであり、X_{1b}がGlyであり、X_{1c}がAlaであり、そしてX_4がGlyである、請求項９に記載の製薬組成物。
【請求項１３】
被験者の神経変性疾患を治療する方法であって、被験者に神経変性疾患を調節するのに有効な量のトランスフォーミング増殖因子α（TGF-α）ポリペプチドを投与することを含んでなる上記方法。
【請求項１４】
CNS疾患または障害を治療する方法であって、被験者に配列番号３に示された配列を有するポリペプチド、または配列NH_2-X_{1a}-Cys-His-Ser-X_{1b}-X_2-X_{1a}-X_{1b}-X_{1a}-X_3-Cys-COOH（配列番号4）（配列中、X_{1a}およびX_{1b}は独立してVal、GlyまたはAlaであり；X_2はTyrまたはPheであり；X_3はArgまたはLysであり；そして2つのCys部分はジスルフィド結合を介して連結されてTGF-α活性を有する少なくとも11個のアミノ酸の機能性ペプチドを形成する）を有するポリペプチドを投与することを含んでなる上記方法。

【請求項１５】
細胞傷害性または免疫抑制治療中の造血を増強する方法であって、造血を増強するのに有効な量のTGF-αポリペプチドを投与することを含んでなる上記方法。
【請求項１６】
さらに第2の造血性増殖因子剤を投与してより多くの成熟造血性前駆体細胞の生成を刺激することを含んでなる方法であって、第2の造血性増殖因子がエリスロポイエチン、トロンボポイエチン、G-CSF（顆粒球コロニー刺激因子）、およびGM-CSF（顆粒球マクロファージコロニー刺激因子）から成る群から選択される、請求項１５に記載の上記方法。
【請求項１７】
被験者の胃腸管の粘膜炎を治療しまたは予防する方法であって、被験者の口腔もしくは腸の粘膜炎を抑制しまたは予防するのに有効な量のTGF-αポリペプチドを投与することを含んでなる上記方法。
【請求項１８】
式III：
ループペプチドN末端-リンカー-環状$C_4H_8N_2$-リンカー-ループペプチドN末端（III）
［式中、リンカー部分はループペプチドのN末端と環$C_4H_8N_2$の窒素原子とを連結するように設計され、かつループペプチドは配列NH_2-X_{1a}-Cys-His-Ser-X_{1b}-X_2-X_{1a}-X_{1b}-X_{1a}-X_3-Cys-COOH（配列番号4）（配列中、X_{1a}およびX_{1b}は独立してVal、GlyまたはAlaであり；X_2はTyrまたはPheであり；X_3はArgまたはLysであり；そして2つのCys部分はジスルフィド結合を介して連結されてTGF-α活性を有する少なくとも11個のアミノ酸の機能性ペプチドを形成する）を有する］で示される化合物であって、TGF-α模倣剤として機能する上記化合物。
【請求項１９】
少なくとも1以上の次のアミノ酸：-X_4-His-X_{1c}-X_4-X_5-X_6-X_{1c}（配列番号5）（配列中、X_4はGluまたはAspであり；X_5はLeuまたはIleであり；そしてX_6はAspまたはGluである）が配列番号4のC末端のCys部分に連結されている、請求項１８に記載の化合物。
【請求項２０】
X_{1a}がValであり、X_{1b}がGlyであり、そしてX_{1c}がAlaである、請求項１９に記載の化合物。
【請求項２１】
X_2がTyrであり、そしてX_3がArgである、請求項１９に記載の化合物。
【請求項２２】
機能性ペプチドが18個のアミノ酸長であり、かつX_{1a}がValであり、X_{1b}がGlyであり、X_{1c}がAlaであり、そしてX_4がGlyである、請求項１９に記載の化合物。
【請求項２３】
リンカーグループが置換したもしくは無置換のC_{1-6}アルキル、置換したもしくは無置換のC_{2-6}アルケニル、置換したもしくは無置換のC_{1-6}アルコキシ、キシレニル（ここで、置換基はオキソ、エポキシル、ヒドロキシル、クロリル、ブロミル、フルオリルおよびアミノから成る群から選択される）から成る群から独立して選択される、請求項１８に記載の化合物。
【請求項２４】
炎症性腸疾患、大腸炎、および胃腸管のクローン病を治療する方法であって、疾患を抑制または改善するのに有効な量のTGF-αポリペプチドを投与することを含んでなる上記方法。
【請求項２５】
被験者の自己免疫疾患の炎症反応を治療または予防する方法であって、被験者に炎症反応を抑制または改善するのに有効な量のTGF-αポリペプチドを投与することを含んでなる上記方法。
【請求項２６】
自己免疫疾患がII型（若年性）糖尿病、関節リュウマチ、狼瘡、糸球体腎炎、および多

発性硬化症から成る群から選択される、請求項２５に記載の方法。